

令和元年度第4回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 令和2年3月23日（月）、3月24日（火）
- 出島集会所（出島）、宇品老人いこいの家（宇品西）、宇品東集会所（宇品東）、元宇品会館（元宇品）

2 出席者

- 各地区地元委員全員出席

3 議事要旨

（1）協議会の進行

- 令和元年度第3回協議会の議事概要の確認
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 地域振興策について

（2）発言要旨

【令和元年度第3回協議会の議事概要の確認】

（意見なし）

【廃棄物の受入実績等について】

（宇品西）

- ・ 長期的な目で見ると搬入量は微増であるが、今後、災害廃棄物の受入がなくなると、全体的な搬入量が減少傾向になるのではないかと。
→ この4月から、玖谷処分場へ埋めていた広島市の一般家庭の燃え殻を当面2年間は出島で受け入れる動きがあります。これが年間3万トンを超える量があり、搬入量は来年度も今年度と同程度で推移するものと見込んでいます。

（宇品東）

- ・ 過積載などで複数回違反した場合、出入り禁止などの措置をとるのか。
→ 1回目は注意文書を、改善されない場合は受入れ禁止措置をとります。

（元宇品）

- ・ 3万トンの一般焼却灰以外に新規はあるのか。
→ 再来年から西部地区で新たにバイオマス発電所ができる予定で、令和3年度から搬入する見込みになります。その量が年間約1万2千トンになります。

【処分場の維持管理状況等について】

（宇品西）

- ・ BODの測定値が高い傾向にあるのは、産廃の搬入によるものか。
→ 産廃や一廃などが入っているため、その中の様々な成分が影響していると考えられます。ただし、周辺環境へ悪影響を及ぼす数値ではありません。

（宇品東）

- ・ BODの測定値がわずかな時間で倍になっている原因は何か。
→ プランクトンの急激な増減によって引き起こされた、自然現象によるものと思われま。

【周辺環境の調査結果等について】

(宇品西)

- ・ 基準を超過した場合は搬入を停止するのか。
→ 異常があった場合は緊急時のマニュアルに沿って、適切に対応を行います。

【地域振興策について】

(出島)

- ・ みなと公園は塩害が発生する地域であるため、桜を植えても枯れる可能性があるのではないか。
- ・ 集会所は既に市が管理する施設があり、銀行も多くはスーパーに併設されており、防災設備も高潮が来れば浸かってしまう。BMX については管理者の問題やけがをしたときの補償の問題がある。そうなってくるとカラクリ人形のような手間がかからないものしかないのではないか。
→ どの案も一長一短があると思いますが、今残っている案の中で、これから関係機関と管理方法や管理主体をどこが持つのかということについて、調整させていただきたいと思います。

(宇品西)

- ・ 防災設備を整備するにしても、地区を限定せず広く貸し出しができる方が、有用性があってよい。
→ 残りの 6 候補について、維持管理を詰めた上で、再度皆さんに意見集約を行いたいと思います。

(宇品東)

- ・ BMX については誰でも自由に使用できてしまう形ではなく、事故があった時の対応として管理者を置いておかないといけない。
- ・ 防災施設は台風で水に浸かると、使用できなくなるのではないか。
- ・ サクラの花は塩害や管理が大変ではないか。
- ・ 銅像のようななるべく費用がかからないものを作って、残額を分ける方がよいのではないか
→ 残額の用途については、今後、代表者でご相談させていただきます。

(元宇品)

- ・ BMX について、本来は FISE の PR イベントの予定があり、小さい子どもからも体験してみたいという声を多く聞いている。そういった方たちの今後の活躍の場のためにも、今回提案をした。
- ・ 維持管理を行える協会団体のような組織を立ち上げないといけない。運営に関しては、そういったプロが団体を立ち上げてもらえれば可能になると思う。
→ 集会所と BMX については誰が作るのかという問題もあり、例えば地元の施設に対し、県が補助金を交付するという形であれば、問題ないが、県が作るとなると県の所有物になってしまいます。県が施設を整備して、県で管理できるかどうかも含めてまた検討させていただきたいと思います。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)